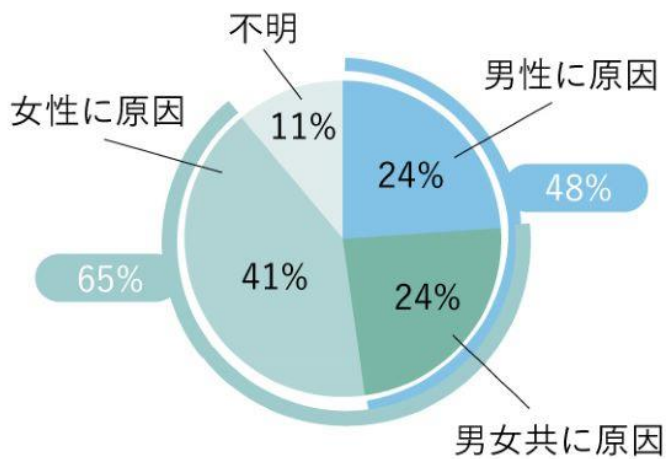


不妊原因の一つ

男性不妊症

- 結婚して通常の夫婦生活を行って1年間妊娠しなければ不妊症と定義されます。
- 日本では結婚したカップルの約6組に1組が不妊症と言われています。
- 不妊症と言うと女性の病気というイメージがまだ根強いですが、現在では不妊症の原因の半数近くには男性側に要因があると考えられています。**不妊治療は、男性から始めるのが効果的です。**



- 男性要因の評価に関しては、やはり精液検査が重要になります。不妊でお悩みの際は、少しでも早くご夫婦共に検査を行い、原因究明をして治療にあたるのが、妊娠への早道です。

精液検査って？

通常の精液検査では、精液量、精子濃度、運動率、正常形態率などを調べ、WHOの正常精液の下限基準値と比較しています。1 mlの精液の中に存在する精子の数を精子濃度といい、その中で前進運動をしている精子の濃度を前進運動精子濃度と呼び、**SMI**測定に最も深く関与しています。

	SMI	前進運動精子濃度 (×10 ⁶ /ml)	精子濃度 (10 ⁶ /ml)	前進運動率
下限基準値	80	4.8	15	32%

*WHO5TH

「SMI(Sperm Motility Index) 精子運動性指数」とは？

SMIは、MES社が30年以上前に設けた基準で、運動精子濃度と精子平均速度を組み合わせることで数値化したものであり、精子の状態が良好であるほど高い値が示されます。一般的にはSMI 80（以上で良好）を基準値として定め、受精方法を決める重要なファクターの一つとして海外及び国内でも広く認知されております。

最新型モデルSQA-iO使用



院内で75秒で簡単結果判定

項目	結果	単位	基準値
濃度	272.2	百万/ml	>=15
精子運動率(前進+中運動)	65	%	>=40
前進運動精子濃度	177	百万/ml	>=4.8
前進運動率	65	%	>=32
正常形態率	65	%	>=4
運動精子濃度	177	百万/ml	>=15
前進運動精子濃度	177	百万/ml	>=4.8
(15分)精子運動性指数(SMI)	272	-	>=80

※ WHOの調査では、精子の運動性、濃度、体調などのストレス等により大きく変わることがわかっています。1回目の検査で虚弱に分類されてしまった場合でも、喫煙、飲酒、睡眠不足、ストレスなどを減らして再検査を受けることで、正常値を得られることがあります。体調管理を心がけて再検査を受けることをお勧めします。